

令和6年度 (気仙沼支援) 学校の研究概要 ～令和7年1月末現在～

運営委員氏名 (小野寺 由紀)

研究テーマ	「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた支援の在り方」 ～ 授業の振り返りと授業改善の工夫を通して ～ (2年次)
研究目標	児童生徒一人一人の適切な実態把握と、学習指導要領を踏まえた授業計画や授業の振り返りと授業改善を通して、個々の児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた支援の在り方を検討・実践し、よりよい授業づくりを目指す。
研究内容・方法 研究計画等	<p>1 研究期間：3年間（本年度2年次）</p> <p>2 本年度の取組</p> <p>(1) 「主体的な学び」「対話的な学び」の実現に向けた授業計画と授業づくり，授業実践 「授業計画構想シート」を活用した学習グループごとの話し合いを基に、協力して準備を行い、生徒の実態や支援方法を共有した上で授業実践に取り組んだ。</p> <p>(2) 授業の振り返りと授業改善 付箋紙を用いた授業の振り返りを継続して実践した。研究研修部から、「主体的な学び」「対話的な学び」の実現に向けた授業改善の手立てを示し、授業づくりにつなげたり、参観及び振り返りを行う際の視点として取り入れたりした。</p> <p>(3) 個々の児童生徒の学習段階の把握と学習の蓄積 個々の「内容一覧表」に達成（○）または継続指導（△）を記入して学習状況を蓄積することで、各教科・領域の学習段階を正しく把握できるようにした。また、その状況から個別の指導計画の目標を設定することにもつなげた。</p> <p>(4) 研修会や他学部体験の実施 校内研究研修会として、チームで継続的に支援するための話し合いをサポートする、「話し合いサポートツール」の活用方を学んだ。</p>
研究の概要 ・研究経過 ・研究成果等	<p><研究経過></p> <p>昨年度の校内研究の成果と課題を受け、3年計画の2年目となる今年度は、授業の振り返りと授業改善に重点をおいて実践に取り組んだ。授業の振り返りについては、色分けした付箋紙を使って、具体的な生徒の姿を記入するようにした。ピンクには「主体的な学び」、黄色には「対話的な学び」、水色には「深い学び」に関する児童生徒の姿について記入し、各学部の職員室に設置している「授業振り返りコーナー」に貼り出し、次時の授業改善につなげたり、授業者以外の教員にとっても授業づくりのヒントとしたりできるようにしている。授業づくりにおいては、教員の学習グループごとに「授業計画構想シート」を使って、授業内容や支援方法について検討や共有を図りながら授業準備、実践を進めることができた。内容一覧表を使つての学習状況の蓄積は、その状況を踏まえ個別の指導計画の目標設定の目安としたり、引継ぎ資料として活用したりしている。校内研究研修会では、グループごとにツールを使つた演習に取り組み、実際に話し合った内容を入力していくことで、これまでの支援の流れやこれからの支援方法について共有することができた。今後、チームであたる支援や支援記録の方法として参考にしていきたい。</p> <p><研究成果></p> <p>年度初めには、内容一覧表の引継ぎをし、担当生徒の学習状況の把握を行い、それを基に個別の指導計画の目標設定へとつなげることができた。今後も継続し、生徒一人一人の学習状況が分かるように蓄積を行っていく。</p> <p>授業計画では、題材を通して生徒に身に付ける力が共有できるように、「授業計画構想シート」を使って、目標や評価規準、全体の学習活動の流れを確認し、そこから1単位時間ごとの学習内容を具体化していき、児童生徒一人一人への支援内容について意見を出し合い、授業実践につなげることができた。また、授業づくりでは、「主体的な学び」「対話的な学び」の実現に向けた授業改善の手立てを参考に支援方法を考えて実践につなげたり、教員同士の授業の振り返りの視点として提示して確認したりすることができた。</p> <p>授業の振り返りについては、今年度も教員一人一人に振り返り板を準備し、今年度の校内研究の取組が確認できるようにして取り組んだ。付箋紙を使って行うことで、様々な意見をもらうことができ、それらをすぐに授業者と確認し、授業改善につなげることができた。</p>

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお、項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。